

安平町地域公共交通協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

安平町は、北海道胆振東部に位置し、面積は237.1km²、人口約7,300人の軽種馬や酪農などの農業を基幹産業とする過疎地域であり、平成30年9月の北海道胆振東部地震で大きな被害を受けて加速度的に人口減少が進んでいる地域である。

こうした現状を直視しつつ、地域公共交通網形成計画及び当改善計画に基づき、高齢化・多様化する利用者のニーズに応えるための課題とその解決に向けて、存続が危ぶまれている鉄道やバス、ハイヤーの役割分担と連携等を図りながら持続可能な交通体系を構築し、震災前より魅力的なまちづくりを目指している。

これまでの改善計画の中では、従来のバス路線を統合し、「循環バス」として整備したことで、幹線交通との接続や生活関連施設等へのアクセスが向上し、バス利用者数の目標値を上回る成果をあげることができた。今期も改善を行うとともに、利用促進策などを多角的に実施し、引き続き、住民の生活及び地域の活性化にとって必要である「循環バス」の維持確保を進めてきたところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

- バス(地域内循環系統)の利用者数の増加:
4,360人/年(令和4年度)
- JR駅利用者数の増加:
688人/日(令和4年度)

令和4年度事業概要

循環バスの運行
運行系統: 道の駅あびら～早来駅前～早来源武
系統キロ程: 38.5km
運行日数: 245日(R3年10月～R4年9月)
運行回数: 1,225.0回

地域公共交通の現況

- ・JR石勝線(追分駅)、
JR室蘭線(追分駅、安平駅、早来駅、遠浅駅)
- ・あつまバス(株)(苫小牧線、千歳線等)
- ・循環バス(町内4地区を結ぶ町営バス)
- ・デマンドバス(商工会と追分ハイヤーによる
小地域内を移動する予約制乗合バス)
- ・(有)追分ハイヤー
- ・スクールバス(5路線・町営)
- ・福祉輸送(1事業・町営)

協議会開催状況

- ・令和4年1月19日
地域公共交通計画の進捗報告、
循環バス停留所の移設について 他
- ・令和4年3月29日
循環バスの運行経路の変更について、
地域公共交通計画(素案)の概要について 他
- ・令和4年6月9日
地域公共交通計画(案)、循環バスに係る地域
公共交通確保維持事業計画について 他
- ・令和5年1月19日
確保維持改善事業の事業評価について 他

運賃: 大人(中学生以上)	200円
小人(小学生)	100円
幼児(要同伴者)	無料

令和4年度事業の実施状況

町民対話型による公共交通の検討の様子 ⇒



1) プロセス、創意工夫

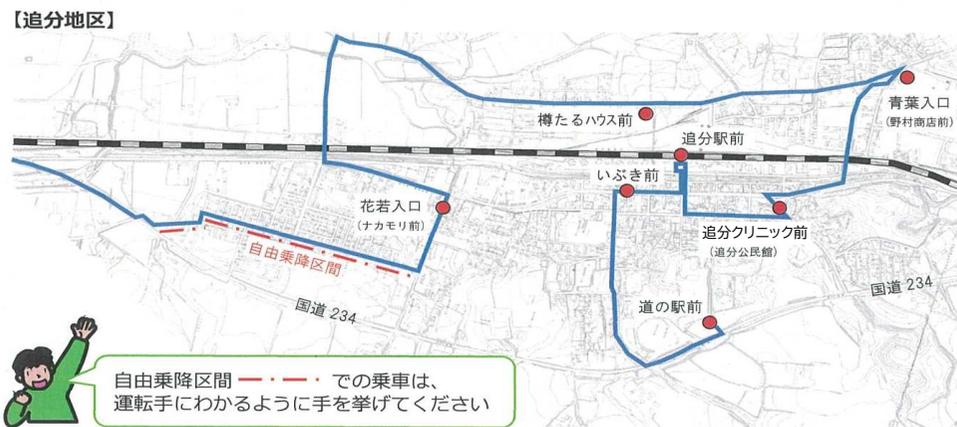
前年度に寄せられた町民意見や乗降データ等をもとに各種見直しを行った。(以下、主な改善点)

- ①住民要望を踏まえた停留所の移設(早来地区)
- ②自治会要望に基づく経路変更及び自由乗降区間の拡充(安平地区)
- ③循環バス運行時刻のオープンデータ化の実施及びGoogleMap等における経路検索を可能とした

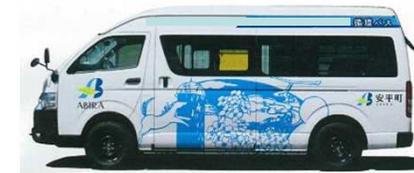
その他、当該循環バスはもとより、公共交通全体の利用促進等を図るため、次の取組を継続実施した。

- ・賢く上手な公共交通の組合せ利用を促す総合時刻表、路線図、私の時刻表の作成と提供
- ・説明機会の創出、個別訪問の実施など、町民対話型による公共交通の検討
- ・利用促進を図るノーマイカー運動や助成金事業の実施、町内全公共交通機関で利用できる共通回数乗車券の発行
- ・駅や停留所の美化活動など町民協働による「私たちの公共交通」意識の醸成(関係団体が表彰も受賞)

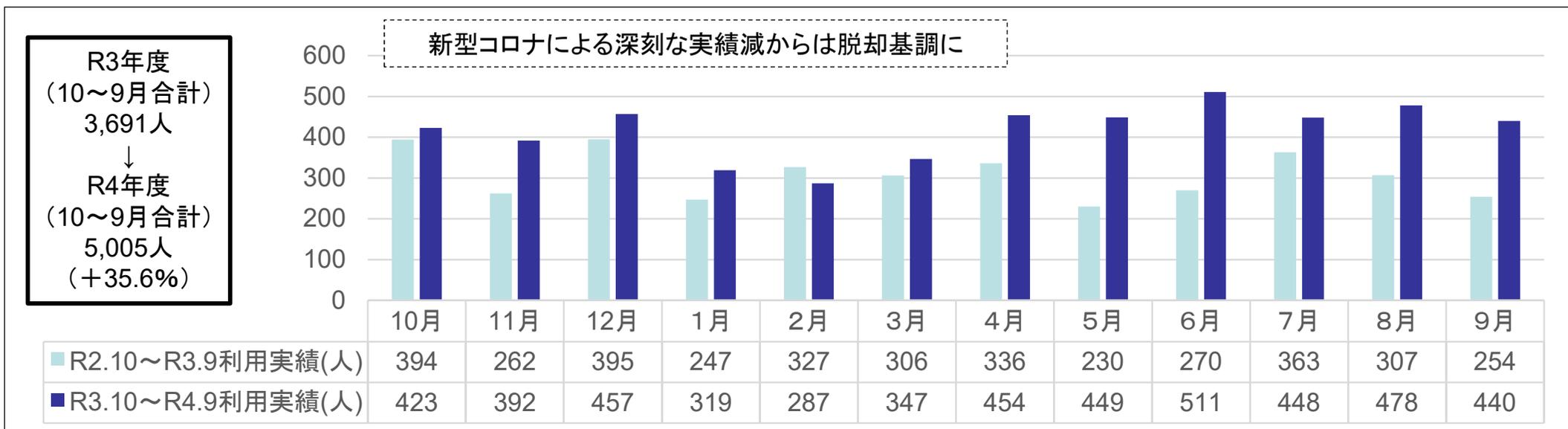
2) 運行系統



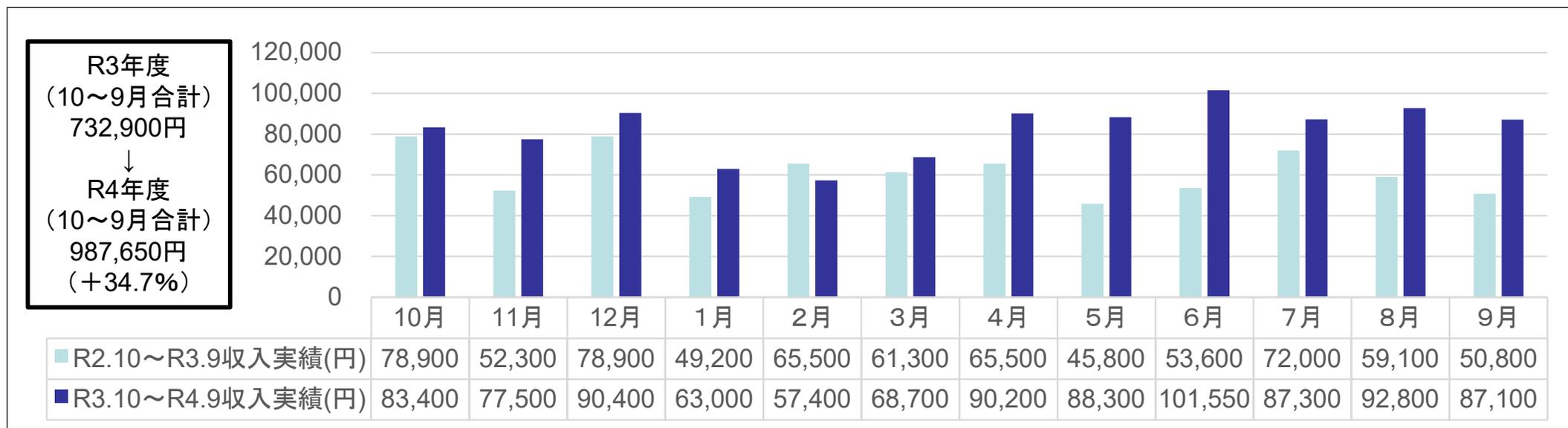
【停留所の間隔について】
ハイヤー等との役割分担と共存を図るため、原則 200m以内に停留所は設けず、始発点から終着点までの所要時間の冗長に繋がらないことを前提に、300m以上を基本に設定しています。



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

バス(地域内循環系統)の利用者数の増加 [達成]

計画 4,360人/年

実績 5,005人/年

JR駅利用者数の増加 [未達成]

計画 688人/日

実績 523人/日

※震災後の年あたりの人口減少幅が依然大きいことに加え、新型コロナウイルス感染症による生活スタイルの変化等の影響が未達成に終わった大きな要因であるが、令和2年8月より安平町共通回数乗車券(プレミアム付き交通券)を鉄道きっぷ購入代金としても使用できるよう範囲を拡大した効果が見え始めており、今後も積極的な利用促進を図ることで、改善の余地がある。

安平町共通回数乗車券(鉄道)使用実績

令和2年9月実績 44,250円 → 令和3年9月実績 93,400円

→ 令和4年9月実績 155,650円(+66.6%)

7) 事業の今後の改善点

地域住民に対して広報等による説明機会を増やし、循環バスをはじめとした公共交通機関の認知度を高めるとともに、交通手段を賢く上手に利用する啓発活動を強化する。また、停留所の増設や自由乗降区間の拡充を検討していく。

町内の団体等を対象とした「安平町鉄道等利用促進活動費助成金事業」を継続するとともに広域市町による室蘭線活性化協議会等の事業を推進し、JRとの接続利便性の向上策など、JR駅利用者数の増加をはじめとした公共交通全体の利用促進を図っていく。

8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和5年度分と併せて評価)